
3年研究授業計画

東二番丁小学校 3学年担任 工藤 慶次郎

1 研究教科 算数科

2 算数科で目指す児童像

算数的活動を通して考えたことを発表し合ったり、友達と話し合ったりして、自分の考えを深め数理的な処理の良さに気付くことができる。

3 児童の実態

学習意欲が高く、ほとんどの児童は真面目に学ぼうとする態度ができている。授業に集中して取り組むことが難しい児童も一部見られるので、声掛けが必要である。また、かけ算九九などの基本的な学習内容は、よく身に付いている児童が多い。発表も積極的に行おうとしているが、特定の児童に限られていたり、どう表現したらよいか分からず自信を持って言えなかったりしている。今後は、失敗を恐れずに取り組めるようにしたり、算数的な用語や図などをうまく使いながら自分の考えを表現できるようにしたりする必要がある。

4 授業研究計画

- (1) 新しい計算の仕方について、既習内容を活用して考えたり、友達の考えを聞いて再検討したり確かめたりできる授業。
- (2) 小数の表し方について、自分の考え方だけでなく、友達の考え方についても確かめ表現の仕方を広げることのできる授業。

5 授業技術課題

- ・ 一人一人の実態を把握し、個に応じた支援ができるようにする。
- ・ 一人一人のつぶやきや発表における要点をうまく拾い上げ、考える視点が明確になるようにする。

◎教科の目標と研究内容との関連

(1) 指導要領より

①教科の目標

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

②3学年の内容

- ・加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。さらに、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにする。
- ・長さ、重さ及び時間の単位と測定について理解できるようにする。
- ・図形を構成する要素に着目して、二等辺三角形や正三角形などの図形について理解できるようにする。
- ・数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり読み取ったりすることができるようにする。

今年度は、3年生で初めて学習する除法の意味やその計算の仕方、および小数の意味や表し方を理解することを中心にした授業を考えている。

(2) 今年度指導するポイント

- ①除法を使う必要のある日常生活における具体的な場面を想定し、それを式に表したり、友達が表した式を読み取ったりできるようにさせる。
- ②端数部分の大きさを表すのに小数を用いることについて、身近な生活の中から学習課題を設定し、実感を伴った理解ができるようにする。
- ③除法の計算の仕方や式の意味、小数の意味を説明する際、数や式だけでなく、具体物や簡単な図などを用い、それを関連付けながら説明できるようにする。また友達の他の考え方の良さに気づき、自分の考えと比べたり考え直したりできるようにする。